

人と産業が躍動する元氣なまちづくり

新年あけましておめでとうございます。

私は、昨年4月から新しい長島町の町長という重責を担わせていただくことになりましたが、平素、皆さま方には町行政に対する深いご理解と、ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

長島は、これまで東町と長島町の2つの行政区に分かれていましたが、これからの地方自治体のあり方を展望するとき、日常生活圏の拡大、地方分権の推進、超高齢化社会への対応、国・地方を通じた財政の悪化等、地方行政を取り巻く環境は厳しいものがあり、合併することが最善の道であると信じ、平成18年3月20日、新「長島町」が誕生しました。



長島町長

川添 健

顧みますと、長島は、戦後60年の間に劇的な発展を遂げました。産業振興の基盤である道路、港湾、耕地の整備、上水道、かんがい用水の発達、医療・保健衛生の充実、教育・文化の発達等その変貌ぶりは目を見張るものがあります。中でも黒之瀬戸大橋や伊唐大橋の開通は、長島本島や伊唐島を離島から半島へと変え、島民に生活の利便性をもたらすとともに、人的な交流や産業振興に大きな役割を果たしております。また当地域は、全線開通が間近となった新幹線をはじめとして三県架橋、地域高規格道路、南九州西回り自動車道など九州西岸軸構想というビッグプロジェクトが進行しており、人と物の交流、産業や観光の振興、生活基盤の拡充とい

う観点から、飛躍的な発展が期待されます。

本町や当地域がこうした発展をしてきたのは偏に先人の努力があったからであり、先輩の方々に対し、深湛なる敬意を表します。

私は、平成19年の年頭にあたり、これまでの先人たちが営々と築いてきた故郷をさらに発展させ、「人と産業が躍動する元氣な町 長島」にするため、全力を尽くしてまいります。また、まちづくりの基本として、旧町間の融和を図るとともに本町の特性である豊かな自然を生かした農業、漁業を中心として、新しい視点に立った観光の創設等産業の振興に努めてまいります。

さらに、一人ひとりを大切にするきめ細やかな福祉の充実したまちづくりに資するため、まずは本年4月1日に、県からの権限委譲により福祉事務所を開設いたします。九州の町村では初めてのことであり、迅速で丁寧な福祉行政を進めるべく準備をいたします。

「夢と活力があり、住民一人ひとりを大切にするまち」実現に向けて町民一丸となった取り組みへの決意と、皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。